



発行 真宗大谷派 高山教務所
発行者 大町慶華
〒506-0857 高山市鉄砲町6番地
☎(0577)32-0776
*毎月20日発行 50,000部
三市一郡無料配布
印刷 山都印刷株式会社

念じられ 照らされて

出遇うということ

見義悦子



〔略歴〕
一九四七年生まれ。大谷大学国文科卒業。富山教区正覺寺副住職。同朋会館教導。真宗本廟教化教導。真宗大谷派女性室元スタッフ。

15年前、夫である住職がクモ膜下出血で倒れた時、ふいに浮かんできた言葉がありました。「浄土は挫折した時に開かれる世界」。ご門徒さんや友人と向き合う時、立つ位置としていた言葉だったなあと。住職の代わりをすることになった私も、そこに立って歩みだすことに迷いはありませんでした。

この言葉は、『仏説観無量寿経』(『観経』)の韋提希の姿から生まれた言葉なのでしょう。韋提希の挫折は、「自絶璣珞」という言葉で表現されています。息子のクーデターにより、王妃として妻として母として役割を一杯まじめに果たしてきた

た韋提希は、なぜこんな目にあわなければならぬのかと苦悶します。お釈迦さまが目の前に立たれたことによって、はじめて役割を生きる自分ではない素の自分が出た。それは他者のせいにして、この場から逃げ出し、自分の思い通りになりたいという姿でした。その愚痴のありつたけを尽くすことができた韋提希は、自分が求めているものは何だったのかとはじめて問いを持ちます。

一方お釈迦さまも「あらゆる衆生と共に」という教えを説き続けてきたが、この韋提希の愚痴の姿に出あって、挫折されたのではなかったでしょうか。今まで説いてきた

生活者となって歩み続ける仏教を選びとられた。その意味で、浄土真宗の教えは、「関係の教学」とも表現されます。さまざまな関係を生きることは、常に挫折をはらんでいます。挫折とは、自分の価値観、あたりまえ感が間に合わなくなったということでしょう。その時はじめて素の自分が出る。人は、関係の中での役割を生きようとする時、必然的に善人でありたいという生き方をしている。その生き方に挫折した時現れる愚痴の姿、その愚痴を尽くすことによって、自分が何を願っているのかという「問い」が生まれる。その「問い」を持つたことによって、人と出遇え、言葉と出遇えるのではないのでしょうか。同時にそれは「同朋」を見いだしたということではないかと思えます。

飛驒の真宗

伝承散歩⑤ かねん坊さん(下)

白鳥から白川郷へ移り、親鸞聖人の教えを広めていた嘉念坊善俊上人は飯島に道場(現在の白川村敬勝寺の位置)をかまえ、一八二二年、六十九歳の生涯を終え、鳩谷で荼毘に付されました。飯島の道場は「正蓮寺」となり、白川郷では強大な真宗教団が形成されていきました。

金森長近が高山城を中心に飛驒の地を統治していました。一五八八年、長近は飛驒の統治に照蓮寺と協力するため、照蓮寺を高山の街に移転・造営しました(現在の高山別院照蓮寺)。中野に残った照蓮寺は「照蓮寺掛所心行坊」として中野の地の道場となりました。時は過ぎ、昭和三十年代、中野の集落は御母衣ダムによって水没されることとなり、中野照蓮寺のお堂は高山市の城山へ移築されました。城山の照蓮寺には、室町時代の真宗寺院の様式が残されています。

城山へ移築された照蓮寺



おしなで くわんせつ



問 お内仏にお供えする蠟燭は、赤い蠟燭と白の蠟燭がそれぞれあると聞きました。どっちを使えばいいのでしょうか？

答 赤い蠟燭(朱蠟)は、年忌法要や報恩講など主要な仏事の時に使用します。白蠟燭(白蠟)は、平常一般のお勤めの時に使用します。

よく中陰や年忌の法要をお勤めするのに、朱蠟なのか白蠟なのかお問い合わせを受けることがあります。中陰勤めが終わる百カ日法要、それ以降の年忌法要は、朱蠟でお勤めをしていただくことよろしいかと思えます。ただ、これについてはそれぞれの地域の習慣もあり

ますので、お寺にお問い合わせいただければと思います。

かねん坊さんによって伝えられた真宗の教えが、飛驒には息づいているのです。

家族で読もう

私を照らす
ひかりの言葉 ③

酒井 義一

川が、ない

昨年の秋のことです。大阪の友人のお寺の報恩講に出かけました。そのお寺には過去三回ほどかがつており、道もよくわかっています。いつもの車で下車し、改札を出て左に歩きます。するとすぐ川があり、そこを左に行くとお寺に到着します。わずか三分ほどの距離です。

しかし、その日に限って、なんと左にあるはずの川がないのです。まさか、あの川はなくなつたのか。そんなことはないはずで

す。通りがかりの人に聞いてみると川は反対側だということです。そこで今度は反対に向かって歩いてみました。しかし、行けども行けども、川がないのです。自分は

いったいどこを歩いているのか、さっぱりわからなくなっていました。地図はあるのです。しかし、こんな時は手元に地図があつても、役に立ちません。なぜか。それは、自分が今どこにいるのかが、まったくわからないからです。

そこで、街ゆく人に道を尋ねました。「あの〇〇寺さんへ行くきたいのですが?」。するとその方いわく「ああ〇〇寺さん。すぐそこですよ」。なんと、そんな近くにきていたとは。すっかり道に迷ってしまったのでした。

でしょう。そのお寺の住職に尋ねてみると、同じ名前の駅がふたつあつて、いつもと違う駅に降り立ってしまったとのことでした。

正しさの名のもとに

そんな時、ふと以前に聞いた、ある言葉を思い出しました。

正しさの

名のもとに

人は道を

間違

この道に間違いがないという思い込みが強いほど、人は道を間違えるもの。自分はよく知っているという思いが強いほど、人は道を間違えるのかもしれない。

逆に、道がよくわからない時、人は地図をよく見て、現在地を確かめ、注意深く歩んでいくの

でしょう。道を間違えるくらいなら、まだかわいいものです。よく似たことを、生きるの中で繰り返ししてはいないでしょうか。

私は正しいと深く思い込む時、人は生きる道を間違

道を問い尋ねる

でも、そんなときに大切にしたことは、私より先に歩む人に道を問い尋ねる、ということ。 「こっちは違う。あつちに向かつて歩もう」と、行先を示してくる人に道を問い尋ねる、ということです。人生は道場です。人は時として

道を間違

「すでにこの道あり。必ず度すべし」「この道を探

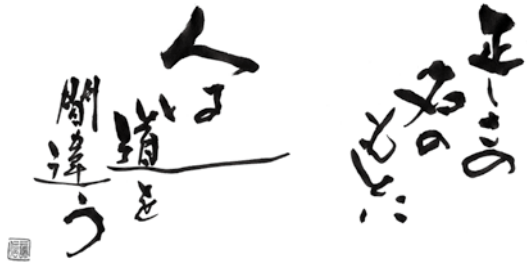
人とは、正しさの名のもとに道を間違

仏とは、道を間違

あなたへのメッセージ

正確な地図があつても、私がどこにいるかがわからないと、進むべき道が明らかになりません。今はどこに

正しさの名のもとに、人は道を間違



今回は藤場芳子さんの「女と男のナムアミダブツ③」です。

高山二組 若声会
連続公開学習会
(第3回)

日時 6月18日(水)
午後7時30分

会場 高山別院御坊会館

講師 海法龍氏

テーマ 「念仏と供養」

聴講料 500円

婦人研修会参加者募集

日時 6月25日(水)
午前9時30分

会場 高山別院

講師 伊藤元氏

講題 「日豊教区徳蓮寺」

費用 1,500円

佐奈姫急法要案内

佐奈姫(1633~1667)は、東本願寺第

十三代宣如上人の娘で、

照蓮寺宣心にわずか9歳

で嫁ぎ、35歳の短い生涯

を終えました。その墓前

で法要を営み、開法

をもちます。

日時 6月26日(木)
午後1時30分

会場 松本町佐奈姫墓所

講師 松本町公民館

※別院から送迎があります。

午後1時までに別院事務所

に集合ください。

6月 1回壇案内

15日(日)真蓮寺「鉄砲町」

※詳細は会所のご寺院に

お尋ねください。

解放共学研修会のご案内

第1部

講師 小鹿美佐雄氏(国立駿河療養所入所者自治会駿河会会長)

講題 ハンセン病は終わっていません

-いま、伝えてほしいこと-

第2部

講師 酒井義一氏(東京教区存明寺住職)

講題 大谷派の関わりと真宗門徒として

ハンセン病問題に出会うということ

参加費 無料

日時 2014(平成26)年6月5日(木)

午後1時30分(受付)~5時

会場 高山別院 御坊会館(本堂下)

児童 夏のつどい in 賢誓寺
7月29日(火)~30日(水)開催!
参加者募集!
カレー作り・川遊び・ハイキングなどいろんなイベントが盛りだくさん。
会場 賢誓寺(下呂市萩原町)
参加費 3,000円(食費・保険等含む)
対象 小学校3~6年生
締切 7月4日(金)
【お申し込み・問い合わせ先】高山教務所

【白川組】
期日 5月30日(金)
時間 午後7時30分から
会場 明善寺(白川村荻町)
講師 三島清圓氏(国府町西念寺)
参加費 500円

【莊川組】
期日 6月6日(金)
時間 午後7時30分から
会場 黒谷公民館(高山市莊川町)
講師 白川壽磨氏(岡本町願生寺)
参加費 500円

【吉城組】
期日 6月1日(日)
時間 午後1時30分から
会場 浄永寺(飛騨市古川町)
講師 尾畑文正氏(三重教区泉稱寺)
参加費 無料

【益田組】
期日 6月12日(木)
時間 午後7時から
会場 JA 葬祭センター萩原
講師 佐賀枝夏文氏(京都市高倉幼稚園長)
参加費 1,000円

【清見組】
期日 6月22日(日)
時間 午後7時から
会場 ふるさと会館(清見町三日町)
講師 未定
参加費 500円

【朝日高根組】
期日 6月23日(月)
時間 午後7時から
会場 寶蓮寺(高山市朝日町立岩)
講師 馬川透氏(高岡教区真教寺)
参加費 500円

真宗公開講座